

## 山梨県南巨摩郡早川町奈良田方言

小西 いずみ

項目		基本情報
話者 情報	生年	1934年
	生育地	山梨県南巨摩郡早川町奈良田
	性別	男
	補足情報	
解説	概要	山梨県の中に位置するが、周囲の山梨西部方言とは異なる方言体系を持つことから「方言の島」とされてきた。もっとも顕著な特徴はアクセントであり、山梨西部方言が東京方言と同様に下降の位置を弁別特徴をするのに対し、奈良田方言は上昇の位置を弁別特徴とする。アクセント以外の音韻上の特徴は「表記」欄を参照。語彙・文法的特徴は山梨西部方言との共通点も大きい。ダイトー（出した）などサ行動詞イ音便形、動詞否定形 -ノー（イカノー（行かない）など）を用いる点などは、山梨西部方言にはない特徴である。近年は集落の過疎化・高齢化とともに奈良田方言の話者が高齢者に限られ、また、集落内でも使われなくなってきている。
	表記	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガ行鼻音は「カ°」「キ°」…などと記す。</li> <li>・ /s, z/（サ・ザ行子音）は、後続母音/e, a, u, o/のとき唇歯音[θ][ð]になり、/i/のときは[ɕ][ɕ~z]だが、いずれも「サ」「シ」…「ザ」「ジ」などサ・ザ行のカナで記す。</li> <li>・ /t, d/（タ・ダ行子音）は、後続母音/e, a, o/のとき[t][d]、/i/のときc/[tɕ][ɕ~z]、/u/のとき[t~tʰ~tɕ][d~dʰ~ɕ~z~ð]（ただし[t][d]は後ろ寄り、そり舌ぎみ）。/zu/（ザ行ウ段）と/du/（ダ行ウ段）の区別があるが、失われつつある。ここでは/tu, du/（タ・ダ行ウ段）は破裂音の場合「トゥ」「ドウ」、/tu/（ダ行ウ段）が破擦音の場合「ツ」、/zu, du/（ザ行・ダ行ウ段）にあたる破擦～摩擦音の場合「ズ」と記す。</li> </ul>
	文法概説	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主格はカ°（項目8～10など）、対格はオ（1など。前の母音と融合したり長音化したりも。2, 48Aなど）で表される。両者ともほとんど無助詞になることがない。与格は人名詞（相手）であれば二（1, 7など）、無生名詞であれば二（5など）、エ（41A）、イ（46Bな）、サ（3など）。サは前接が長音（稀に撥音、二重母音）のときに用いられる。</li> <li>・主題はワ（11など）、名詞末母音と融合することも多い（5など）。対格のオの後にもワが付く（12）。</li> <li>・動詞の活用の型は子音語幹型（五段）と母音語幹型（一段）、不規則動詞はクル（来）とスル（為）。</li> <li>・動詞否定形は -ノー（10）と -ヌ（この資料では欠）。</li> <li>・サ行動詞がイ音便形をとる（16, 45A）。</li> <li>・過去形は -トー（3など）、-タ（45B）</li> <li>・コピュラ（断定の助動詞）はドー（35など）、ダ（38）。</li> <li>・推量形は、ラ（動詞・形容詞。8など）、ドウラ・ヅラ（名詞、37など）。動詞・形容詞にドウラ・ヅラが付くと本来は「～のだろう」に対応するが、「～だろう」に対応する発話もある（この資料では欠）。過去推量に -トウラがある（15）</li> </ul>

〔基本例文50〕 山梨県南巨摩郡早川町奈良田方言訳

方言訳1 (もっともよく使う表現)	方言訳2 (使うこともある表現)	備考・コメント
1 イマツカラ トモダチニ テカ° ミオ カクヨ。		
2 フデデ テカ° ミヨー カク ヒトモ イルカ°。		
3 イエーサ カイツテ チュード テカ° ミヨー カイトーヨ。		
4 カイトー テカ° ミオ イクドデモ ヨミカエスヨ。		
5 ヨラー ジュージニ ナツタイバ チューチュード ネロヨ。		
6 オッカナイデ シャドーオ アリツチヨヨ。		
7 コノ ホンオ タローニ クレルカ。		「この本を」相当
8 ヒルマツカラ アメカ° フルラカ。	ヒルマツカラ アメカ° フルラ。	
9 ハルニ ナレバ ハナカ° サクヨ。		
10 ハナコカ° マドー アケタイバ ムシカ° ハイッテ キトーニ。		
11 アサケ° ワ アンマリ テレビオ ミノーヨ。		
12 ハナカー ソカ° ーノー バンク° ミオワ ミワ セヌヨ。		「バンク° ミオワ」は「番組=オ(対格)=ワ(主題)」
13 ハナカー キニヨー テレビオ ミナンダヨ。		
14 ハナカー テレビオ ミデーテ ホンキリヨンデルヨ。		
15 テレビオ ミナイバ コノ シャーダーキョージューニ オワットウラヨ。		「シャーダ」が「仕事」の意
16 ネットウー ダイトー コドモニ クスリヨー ノマセトーヨ。		
17 オカーカ° イモートー トウカイニ イカセトーヨ。		
18 シャテート ケンカー シテ オレダケカ° オトツサンニ ヨマーレトーヨ。		「ヨマル」が「怒る」「叱る」意
19 ルスチューニ ドロボーニ ハイラレトーヨ。		
20 コノ カー マダ ヌコイドーカ° ムズカシー カンジオモ カケールヨ。		
21 キョーワ ジカンカ° アルドーデ ユックリ テカ° ミカ° カケルヨ。		
22 コノ カー マダ ヌコイデ ヒラカ° ナシカー カケーノーヨ。		
23 トウクエカ° ナイドーデ ジカ° チョードニヤー カケノーヨ。		

24	タローワ イマ トナリノ ヘヤデ ホン オ ヨンデールヨ。		
25	タローワ ハナコカラ イラットー ホン オ ハイ サイコ° マデ ヨンデール。		「イラウ」が「借りる」意
26	マツト シズカナ トコデ ネタイ。		
27	ユーヤケデ ソラカ° アカイヨ。		
28	コドモノ コラー ヒトリデ カンジョエ イクカ° スコ° ク オッカナカッター。		
29	ウドンヤ ソバジャー ヤスイラ。		
30	フルホンヤニ ホンオ タカク カッテ ウケトー。		「ウケル」が「もらう」意の動詞。本 動詞としても使える。
31	テンキカ° ワルクテ ダレデンマ コ ノーヨ。		
32	マツト ヤスケレバ カエトードーヨ。		
33	ヒトリデ アスピー イッテモ タノシ カー ナイ。		
34	テンキカ° ヨク ナレバ ブンダセル ヨ。		「ブンダセル」は「接頭辞ブン-動詞ダ ス」の可能形
35	タローワ マダ チューカ° クセードー ヨ。		
36	コドモノ コラー センエンデモ タイキ ンダットーヨ。		
37	コリヤー ドロポーノ アシアトドゥ ラー。	コリヤー ドロポーノ アシアト ジャー ナイラカ。	2は「足跡ではないか」にあたる表現
38	ソリヤー オレカ° カサデ アリヤー センセーノ カサダヨ。	ソリヤー オレノ カサデ ア リヤー センセーノ カサダヨ。	1人称代名詞にはウラもある(44B参 照)
39	モシ アシタ ヨイ テンキジャー コド モタチオ トゥレテ ドコイカ イカズ。	モシ アシタ ヨイ テンキ ジャー コドモタチオ ツレテ ドコイカ イカズニ。 モシ アシタ ヨイ オテンキ ジャー コドモタチオ ツレテ ドコイカ イカザー。	イカズニは年上に言ったり、妻が夫に 対して使ったりする、やや丁寧な言い 方
40	コノ カサト クター オレカ° ジャー ナイ。		
41	A : アシタモ ココエ クルカ。 B : オー コズト オモツテルヨ。		
42	A : ナゼ コノー。クルチテ イッテ トージャ ナイカ。 B : ワルイナ。チョックリ グアイカ° ワルイドーヨ。		

43	A : アソコニ イラー タローカ。 B : ヤ タロージャー ナクテ ジロー ジャー ナイラカ。		
44	A : ドレカ° オイシノ カサドウラカ。 B : コレカ° オレカ° カサドーヨ。	A : ドレカ° ワレカ° カサ ドウラカ。 B : コレカ° ウラカ° カサダ ヨ。	ウラは本来は1人称複数 (わたしたち) の意だが単数 (わたし) の意で使われ ることもある。
45	A : コノ ホンオ ヨムジャー カイテ ヤルヨ。 B : ソノ ホンワ ハイ ヨンジャッタ ヨ。		
46	A : トナリノ イェーサ ドロボーカ° ハイッターダケ° ノーヨ。 B : オー ソーカ。 トナリー ハイッ トージャー ウラカ° エーデモ キオ トゥケナイバドーヨ。		「トゥケナイバドーヨ」は逐語訳する と「つけなければだよ」
47	A : アメカ° フリソードーデ マドー シメテ オイテ クリヨー。 B : ハイ シメトードーヨ。		
48	A : ソバー タベー イカザー。 B : ソバヨリ ウドンノ ホーカ° ヨイ ナ。		
49	A : イロハシヨテンチュー ホンヤー ド コニ アルドーカ シラノーカ。 B : シッタールヨー。 アソコニ カンバ ンカ° メールラー。		
50	A : シンケ° ンモチチテ クットー コト カ° アルカヨ。 B : オー アリヤー ホンマニ ウマイヨ ナ。		(「信玄餅」は甲府の名物菓子)